

令和6年度指導計画（数学）

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	数学	総時数	175時間	学年(コース)	1 学年
使用教科書	学校図書『中学数学1』				
副教材等	数研出版『体系数学1 代数編』『体系系問題集数学1 代数編標準』 『体系数学1 幾何編』『体系系問題集数学1 幾何編標準』 『体系数学2 代数編』『体系系問題集数学2 代数編標準』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション ・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察しその解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観，他者を思いやる心，傾聴する姿勢，豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け，地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム ・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし，高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに，すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書，新聞・図書室の活用を奨励するとともに，体験活動を取り入れた教育課程により，幅広い教養を育みます。また，探究の過程を重視するとともに，最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに，「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また，積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め，地球的視野で自分なりの社会課題を発見し，科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに生徒会活動，部活動，課外活動を通して，主体的・自律的に考え行動し，互いに支え，高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

数学的活動を通して，数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め，数学的な見方・考え方を働かせることで数学の資質・能力を高めるとともに，数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し，数学を活用して考えたり判断したり，それを数学的に表現しようとする態度を育てる。

3 指導の重点

- ①授業について，生徒の主体的な態度を促し，課題提示や振り返りを工夫する。
- ②考查内容を工夫し，知識・技能，思考力・判断力・表現力等を適正にみとる。
- ③日々の課題への取り組みを促すことで，授業で学習した内容の定着を図る。

#### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文字式や関数，図形などの基本的な原理・法則、用語・記号等を理解し，知識として身に付けている。また，それらを適切に活用し，課題を解決できる。	数学の知識や技能を活用して，事象を論理的に考察したり，事象から数量や図形などの性質を見いだして，考察したことを数学的に表現できる。	数学的な見方・考え方を働かせて，粘り強く課題に取り組もうとしている。また，自分の勉強方法を見直し，次の学びに生かそうとしている。

#### 5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ， ・授業態度 ・授業中のレポート ・小テスト ・定期考査 ・週課題の取り組み	以上の観点を踏まえ， ・授業態度 ・授業中のレポート ・小テスト ・定期考査 ・週課題の取り組み	以上の観点を踏まえ， ・授業態度 ・授業中のレポート ・小テスト ・定期考査 ・週課題の取り組み
	などから総合的に評価します。	などから総合的に評価します。	などから総合的に評価します。
内容のまとめりごとに，各観点「A：十分満足できる」，「B：おおむね満足できる」，「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。			

#### 6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1章 正の数と負の数	体系数学1(代数編) 1. 正の数と負の数 2. 加法と減法 3. 乗法と除法 4. 四則の混じった計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>正の数，負の数の概念を理解する。</li> <li>正の数，負の数を利用した任意の量を表現する。</li> <li>数と数直線との対応関係を理解する。</li> <li>四則の混じった計算をする。</li> <li>素数の概念を知る。</li> <li>素因数分解をしたり，素因数分解を用いて最大公約数と最小公倍数を求めたりする。</li> <li>正の数・負の数を活用する。</li> </ul>	20	授業態度 筆記試験 提出物
5					
6	第2章 式の計算	体系数学1(代数編) 1. 文字式 2. 多項式の計算 3. 単項式の乗法と除法	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いて数量を表す。</li> <li>文字式に関する用語を理解し，文字式の表し方の決まりを理解する。</li> <li>文字式の四則計算をする。</li> </ul>	20	授業態度 筆記試験 提出物

6	第2章 式の計算	体系数学1(代数編) 4. 式の値 5. 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の値を求める。</li> <li>・文字を用いて数の性質を説明する。</li> <li>・規則的に変化する量を，文字式を用いて表す。</li> </ul>		授業態度 筆記試験 提出物
7	第3章 方程式	体系数学1(代数編) 1. 方程式とその解 2. 1次方程式とその解き方 3. 1次方程式の利用 4. 連立方程式 5. 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量関係を等式で表す。</li> <li>・方程式の性質を知る。</li> <li>・一元一次方程式を解く。</li> <li>・連立方程式を解く。</li> <li>・日常生活の中にある数量関係に着目し，方程式を利用して課題を解決する。</li> </ul>	21	授業態度 筆記試験 提出物
8					
9					
	第4章 不等式	体系数学1(代数編) 1. 不等式の性質 2. 不等式の解き方 3. 不等式の利用 4. 連立不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量の間の大小関係を不等号を用いて表す。</li> <li>・不等式の基本性質を理解する。</li> <li>・1次不等式，連立1次不等式を解く。</li> <li>・日常生活の中にある数量関係に着目し，不等式を利用して課題を解決する。</li> </ul>	16	授業態度 筆記試験 提出物
10	第5章 1次関数	体系数学1(代数編) 1. 変化と関数 2. 比例とそのグラフ 3. 反比例とそのグラフ 4. 比例，反比例の利用 5. 1次関数とそのグラフ 6. 1次関数と方程式 7. 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数，変域の概念を知る。</li> <li>・比例や反比例の表から，変化と対応の特徴を理解する。</li> <li>・座標の位置関係を理解する。</li> <li>・比例，反比例のグラフを利用して，問題を解決する。</li> <li>・1次関数について，表，式，グラフを相互に関連付けて理解する。</li> <li>・1次関数や2元1次方程式のグラフの知識，技能を活用しながら，事象を数学的推論の方法を用いて論理的に考察する。</li> <li>・1次関数を利用して，問題を解決する。</li> </ul>	26	授業態度 筆記試験 提出物
11					

11	第1章 平面図形	体系数学1(幾何編) 1. 平面図形の基礎 2. 図形の移動 3. 作図 4. 面積と長さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形に関する基礎的な知識を理解する。</li> <li>図形の移動について、図をイメージしながら考察する。</li> <li>基本の作図方法を習得し、それを利用したいろいろな作図をする。</li> <li>円の面積と周の長さ、扇形の弧の長さや面積を求める。また、それらを様々な問題に活用する。</li> </ul>	18	授業態度 筆記試験 提出物
12					
	第2章 空間図形	体系数学1(幾何編) 1. いろいろな立体 2. 空間における平面と直線 3. 立体のいろいろな見方 4. 立体の表面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間図形における基本的な用語の意味を理解する。</li> <li>空間における平面や直線の位置関係を理解する。</li> <li>展開図から立体の見取図をかく。逆に、見取図から展開図をかく。また、展開図を活用して問題を解く。</li> <li>代表的な立体の体積・表面積の公式を理解し、それを活用する。</li> </ul>	18	授業態度 筆記試験 提出物
1					
	第5章 データの活用	体系数学2(代数編) 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムや度数分布表、度数分布多角形(度数折れ線)など、資料を整理する方法を知り、それらを用いて資料を整理する。</li> <li>代表値の意味や特徴を知り、資料を様々な視点から分析・考察する。</li> <li>与えられたデータの四分位数や四分位範囲を求めたり、箱図に表したりする。</li> </ul>	18	授業態度 筆記試験 提出物
2					
	第6章 確率と標本調査	体系数学2(代数編) 1. 場合の数 2. 事柄の起こりやすさと確率 3. 確率の計算 4. 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>確率の意味を理解する。</li> <li>様々な場合について確率を求める。</li> <li>確率を用いて不確定な事象をとらえ、説明する。</li> </ul>	18	授業態度 筆記試験 提出物
3					

計 175 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・授業の復習とした課題を，原則毎週出します。
- ・長期休業中の課題は，別途指示します。

## 8 担当者からの一言

- 授業に主体的に参加し，自分の力でじっくり考えることを心掛けましょう。
- 与えられた課題は確実に取り組み，提出期限内に出しましょう。
- 定期考査だけではなく，課題の提出状況や毎時間の授業態度を含めて評価します。  
日々の取り組みを大切にしてください。
- わからないところはそのままにせず，疑問をもったそのときに聞きましょう。

担当：渡辺 明由美 ， 鈴木 佐栄智 ， 田辺 智洋